

〈VBA用語集〉

用語	読み	語源	意味	使う場面
Active	あくていぶ	Active＝進行中の	現在カーソルがあたっているセルや最前面にあるウィンドウなど、パソコンが動作の対象物として認識しているもの全般を指す言葉。アクティブな状態にすることをActivateと呼ぶ。	プログラムの必要箇所。
Application	あぶりけーしょん	Application＝アプリケーションソフト	プログラムが動いているアプリケーションソフトウェアを表す。エクセル上でのVBAのプログラムを動かしている際には、エクセルそのものを指す。	プログラムの必要箇所。
Until	あんでいる	Until＝～になってやっと	Do文中に利用し、繰り返しを止める条件分岐の条件式をパソコンに命令する命令文。(Doの副命令文)	Do文の文中。
=	いこーる	equals sign＝等号	Set文の代入式やIf文等の条件式で利用される。Set文では代入を意味し、条件式では等号を意味するので、使い分けが必要になる。	SET文、If文など。
If	いふ	If＝もし～ならば	特定の条件の正否によって、実行するプログラムを切り分けることをパソコンへ命令する命令文。	条件分岐。
繰り返し	くりかえし	処理を「繰り返し」行うこと、ループ	定められた回数、もしくは、特定の条件の正否によって、プログラムの一部分を繰り返し実行するという概念。具体的な命令文としてはFor文、Do文がある。	プログラムの必要箇所。
Const	こんすと	Construction＝構築する、解説する	定数の宣言をパソコンへ命令する命令文。	定数宣言。
サブルーチン	さぶるーちん	サブ＝副 ルーチン＝一連の流れ	プログラムそのもの。メイン＝「主」は複数のサブ＝「副」から成るという考えを基に、全てのプログラムをサブルーチンとVBAでは呼んでいる。	プログラム名称及び開始宣言、終了宣言など。
条件式	じょうけんしき	「条件」を表す「式」	条件分岐命令、繰り返し命令などに利用される条件分岐の内容を表す式。	条件分岐。
条件分岐	じょうけんぶんき	「条件」によって「分岐」する	特定もしくは複数の条件の正否によって、実行するプログラムを切り分けるという概念。具体的な命令文としてはIf文、Select Case文がある。また、「繰り返し」の条件においてもこの概念が利用される。	プログラムの必要箇所。
初期値	しょきち	「初期」の「値」	変数へ代入する最初の値。変数は値が変化することから、最初の値だけを特にこう読んで区別する。	—
Set	せつと	Set＝置く	変数へ値を代入することをパソコンへ命令する命令文。「Set」そのものの表記は省略されることが多い。	プログラム全般。
Cells	せるず	Cell＝表計算ソフトの升目(ますめ)	エクセルシート上の特定のセルを表す。特定方法として「(1,1)」等の行番号と列番号の組み合わせを利用する。	プログラムの必要箇所。
Select Case	せれくとけーす	Select＝選ぶ Case＝場合	複数の条件の正否によって、実行するプログラムを切り分けることをパソコンへ命令する命令文。	条件分岐。
Then	ぜん	Then＝それなら	If文中に利用し、条件分岐を受けて、何を実行するかをパソコンへ命令する命令文。(Ifの副命令文)	If文の文中。
宣言	せんげん	パソコンへ「宣言」する	何かを取り決めたことを、パソコンに伝える。	定数宣言、変数宣言、プログラムオプション宣言など。
代入	だいにゆう	—	メモリ(主記憶装置)の特定の箇所に、特定の値を保存すること。	(Setを参照)
定数	ていすう	「定(さだ)」まった「数」	固定された値を、特定の名称に代入したもの。	(Constを参照)
Dim	でいむ	Dimension＝次元	変数の宣言をパソコンへ命令する命令文。	変数宣言。
Do	どうー	Do＝行う	特定の条件の正否によって、プログラムの一部分を繰り返し実行することをパソコンに命令する命令文。	プログラムの必要箇所。
Next	ねくすと	Next＝つぎの	For文から始まる一連の繰り返し内容の最終行に記載し、繰り返し内容の終わりをパソコンに命令(宣言)する命令文。(Forの副命令文)	For文から始まる一連の繰り返し内容の最終行。
Function	ふあんくしょん	Function＝関数、機能	エクセル等の関数。サブルーチンと同じように、Function宣言をすることで、利用者が作成でき、また、最初から組み込まれている関数と同じように、エクセルシートのセルなどから直接呼び出すことができる。	関数名称及び開始宣言、終了宣言など。
VBA	ぶいびーえー	Visual Basic for Applications の略語	マイクロソフトが開発した、エクセル等向けの簡易プログラム言語。一般の利用者が使えるプログラム言語の主流。	—
For	ふおー	For＝～の間	定められた回数、プログラムの一部分を繰り返し実行することをパソコンに命令する命令文。	繰り返し。
変数	へんすう	「変」化する「数」	変化する値を、特定の名称に代入したもの。	(Dimを参照)
While	ほわいる	While＝～の間ずっと	Do文中に利用し、繰り返しを続ける条件分岐の条件式をパソコンに命令する命令文。(Doの副命令文)	Do文の文中。
命令文	めいれいぶん	パソコンへ「命令」する「文」、Statement	パソコンへの指示を表す文。プログラムは宣言とコメント以外は基本的に命令文で成り立っている。	プログラム全般。
MsgBox	めつせーじぼくくす	Message＝伝言 Box＝箱	メッセージウィンドウを表示する関数もしくは命令文。	プログラムの必要箇所。
Loop	るーぷ	Loop＝環(わ)	Do文から始まる一連の繰り返し内容の最終行に記載し、繰り返し内容の終わりをパソコンに命令(宣言)する命令文。(Doの副命令文)	Do文から始まる一連の繰り返し内容の最終行。
Rem	れむ	Remind＝思い出させる	コメントを書き込むことを宣言する(命令)文。Rem文の行で、Rem以降に書かれた文はプログラムではないため、一切機能しない。Remの代わりに「」(アポストロフィ)も利用できる。	プログラム全般。
Range	れんじ	Range＝範囲	エクセルシート上で選択される特定のセル範囲を表す。特定方法として、「A1」等の具体的なセル名を利用する。	プログラムの必要箇所。